

4回連載でお届けしたグループウェアについてのニュースは、今回が最終回となります。今回は、第3回目に続き実際に当社で運用している『”Notes”』データベースの活用方法をご紹介します。

右のように”Notes”では、登録されているデータベースは四角いアイコンで表示されます。

今回は当社で使用している『出張回覧』の活用方法をご紹介します。

当社で運用している『出張回覧』データベースは、従業員の出張管理をしております。出張申請から出張精算まで一連の処理を行うことができるデータベースとなっています。

ワークフロー機能により作成者 ⇒ 各部門長 ⇒ 社長 ⇒ 管理部門への回覧・承認制となっています。旅費精算を行っている管理部門まで回覧されるため、管理部門では時間と手間のかかる事務作業もスムーズに行うことができます。



※一部、カスタマイズにより作成しています。



## ”Notes” だからできること

- Notesのワークフローを利用できる。  
⇒文書回覧することで一連の処理を自動化することができる。



内部統制強化、業務の効率化に繋がる。  
また、ペーパーレス化などコスト削減にも繋がる。